

山毛櫨(ぶな)の子 野沢温泉学園だより第8号

～子どもたちが、ブナ(村木)の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

野沢温泉小学校の取り組み

こども園、小学校、中学校の三校園から成る『野沢温泉学園』では、「ふるさと野沢温泉村を心に刻み心を世界に拓き心豊かに人間性を育む教育」を掲げ、野沢温泉村ならではの野沢温泉村だからこその学習に取り組んでいます。

地域性を活かした特色ある教育として『英語学習』『スキー学習』『交流体験学習』『ふるさと学習』『ジョイント期の指導』の五つを掲げ取り組んでいます。

小学校は、現在学年で取り組んでいる『ふるさと学習』と『英語学習』について紹介します。

ふるさと学習

【昆虫・小動物・植物となかよし】(1年)

1年生は、昆虫や小動物、植物が大好き。カニ、白いおたまじゃくし(→かえる)、クワガタ、カブト虫、ザリガニ、鈴虫、カマキリ…。窓際の棚とベランダは子どもたちの飼育する昆虫や小動物でいつもにぎわっています。端午の節句の時は「ショウブ」を探したり、調べたりしました。学校のグラウンドでみつけた植物を採ってきては、鉢に植えベランダで育てています。先日の学園研究会では「どんぐり」と思い思いに関わりました。もちろんどんぐりの中にある虫とも仲よしです。



【野沢温泉の湯でいろいろゆでて味わおう】(2年)



野沢温泉村の湯で作る温泉たまごを自分たちでも作って食べてみたい!と、実際に寺湯、十王堂の湯、大湯でそれぞれ温泉たまごを作りました。学校では、温泉水と水道水に分けてじゃがいもを茹でて食べ比べをしました。2年生は、温泉水で茹でるとほんのりあまくて温泉の味がする、温泉の硫黄のにおい、ふわふわしっとりしているなど、味やにおいの特徴だけでなく、食感の違いも感じることを感じ取っていました。

温泉水がおいしさに繋がっていることを、実際の体験を通して学ぶことができました。

【野沢菜を育てて漬けよう!】(3年)

1学期から、野沢菜が野沢温泉村で育てられるようになった理由や、野沢菜の栽培方法・食べ方について学習をしてきました。

9月初旬には実際に畑に種をまき、栽培を始めました。そして11月中旬。「草丈が胸あたりまであった!」「株の直径が15cmもあった!」と生長を喜ぶ子どもたちの声が聞こえてきた頃に、ちょうど

収穫の時を迎えました。全部で約 36 kg。子どもたちも大満足です。

収穫した野沢菜は、3つのグループに分かれ、調味料を少しずつ変えて漬けました。おいしく出来上がるかな？1ヶ月後が楽しみです。



【スキー場の歴史を調べよう】(4年)



長坂ゴンドラの架け替え工事が始まり、資材を運ぶヘリコプターを何度か目にして、新しいゴンドラへの関心を持った子どもたちは「スキー場の開発や歴史」について学習を進めてきました。新長坂ゴンドラの建設工事やスキー博物館の見学、御年96歳になられた富井賢一さんの「第1リフト建設」のお話などを通して、「野沢温泉村の人たちがスキーを大切にし、お客さんに喜ばれるスキー場にしようと努力をしたり工夫をしたりしてきた事、今もそうした努力を続けていること」を学んだ子どもたちです。

【野沢温泉の米の秘密をさぐろう】(5年)

「野沢温泉の米のひみつ」をテーマにして、自分たちでも米(もち米)を作りながら学習しています。田起こし、畦板張り、田植え、田の草取り、かかしづくり、稲刈り、ハゼかけ、脱穀と一通りの作業をする体験を通して、野沢温泉の米のおいしさのひみつについて確かめたり調べたりしています。



英語学習



【英語で面接活動】(6年)

先日の学園授業研究会で公開した、6年生の外国語の授業についてご紹介します。単元名は、「将来の夢や職業をたずね合おう」です。昨年度、中学3年生との交流活動で行った「架空の会社の面接活動」を6年生同士で挑戦しました。学生役と面接官役に分かれて、自己PRや質疑応答、入社の特典などを全て英語でやり取りし、児童は『難

しかったけど、しっかり聞いて行動できた。』と振り返りました。本物の場面を想定した対話活動を通じて、コミュニケーションの楽しさを感じてほしいと願っています。

学園教育目標のもと、願うこどもの姿を求め、地域・保護者の皆さまのお力をお借りしながら教育活動に取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

文責：小学校 牛山俊彦